

令和4年度の業務実績の概要について (公立大学法人青森県立保健大学)

令和4年度においては、「年度計画を上回って実施している」S評価又は「年度計画を十分に実施している」A評価が85項目(100%)であり、全体的な状況としては順調に計画を実施することができたと自己評価している。

大項目	小項目の自己評価結果		「S」と判断した業務実績の内容
1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置(教育)	S	6	<p>・「No.3 学生募集方針の検討及び実施」 ① 学部生や保健、医療及び福祉の関連団体等への積極的な広報の推進 <16ページ> 計画に基づいて、学部生や保健、医療及び福祉の関連団体等への積極的な広報の推進を行った。そのほかの大学院のPRも有効であり、募集人員以上で、多様な背景をもつ入学生を獲得することができたことから、自己評価をSとした。</p> <p>・「No.4 社会的ニーズに見合った受入体制の検証と改善」 ② 地域の公衆衛生を担う高度人材の育成とMPHコースの周知 <18ページ> 計画に基づいて、MPHコースのPRを積極的に進め、多くの入学生を獲得でき、教育研究活動等の関心を高め、社会的役割等を広く周知できたことから、自己評価をSとした。</p> <p>・「No.7 専門教育」 ② 理学療法学科 <21ページ> 計画を十分に実施したことに加え、理学療法士の国家試験合格率が100%、就職率が100%、本学大学院進学者を多数輩出するという高い成果をあげたことから、自己評価をSとした。</p> <p>・「No.7 大学院生の教育と研究推進(博士前期課程)」 ② 研究発表及び学内研究費助成制度への応募の促進 <25ページ> 計画に基づいて、研究発表及び学内研究費助成制度への応募を促進したところ、青森県保健医療福祉研究発表会の発表演題数が増加し、同発表会において博士前期課程の大学院生が最優秀ポスター賞を受賞したことから、質的、量的にも高い成果であった。 さらに数値目標である「修了年次での学会発表件数(1件/人)以上」を達成したことから、自己評価をSとした。</p> <p>・「No.11 FD・授業改善における」 ① FD研修会の実施 <29ページ> 多様なテーマのFD研修会により、教職員の資質向上のための教育機会を広げることができた。加えて、体系的なFD研修会を推進するための仕組みを整えた。成果の評価が容易になり、今後の効果的なFD研修会の実施につながるものであると評価したことから、自己評価をSとした。</p> <p>・「No.15 学生生活支援」 ③ 学生の健康管理・相談窓口体制の充実に向けた取り組みの検討及び継続実施 <34ページ> 計画に基づいて、学生の心身の健康管理・相談窓口体制の充実、障害学生支援、感染症対策等の取組を継続実施することができた。中でも障害学生支援においては具体的に状況の改善がみられたことと当該学生からの評価も高かったことから、自己評価をS評価とした。</p>
	A	34	
	計	40	
2 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置(研究)	S	0	
	A	5	
	計	5	
3 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置(地域貢献)	S	0	
	A	11	
	計	11	
4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	S	1	<p>・「No.30 事務の整理及び組織・業務の検証」 ② 情報化の推進やアウトソーシングの検討 <55ページ> 課題となっていた休暇申請事務、旅費申請事務等について、既存の教職員向けグループウェアシステム内の機能で電子化を図ることにより、追加の費用が発生することなく教職員の事務負担軽減につながったことから、自己評価をSとした。</p>
	A	10	
	計	11	
5 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	S	0	
	A	6	
	計	6	
6 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	S	2	<p>・「No.36 教員個々の自己点検・評価と目標設定」 ① 教員評価システムによる自己点検・評価の実施とシステムの改善 <61ページ> 計画に基づいて、教員評価システムによる自己点検・評価を行った。これに加え、現行の評価制度を吟味した上で、教職員の時間的コストを軽減し、システム管理に係る費用を抑えることができるシステム開発を行ったことから、自己評価をSとした。</p> <p>・「No.37 情報公開・広報推進」 ② 幅広い広報媒体の活用 <62ページ> これまで行ってきた公式LINEでの発信に加え、より広範囲な情報発信ができる公式インスタグラムを開始したことで、内外に本学の活動を紹介できている。さらに、動画での広報範囲が広がりを見せている。学生からのヒアリングにより今後の取組内容も明確化していることから、自己評価をS評価とした。</p>
	A	4	
	計	6	
7 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	S	0	
	A	6	
	計	6	